

きび美ミュージアム開館記念展Ⅳ — 2022年1月5日(水)～4月10日(日)

寂厳生誕
320年プレ企画
「寂厳と犬養木堂」

古備と出会う

陶

画

一書

刀



kibibi
museum



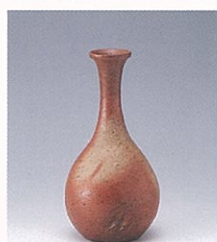
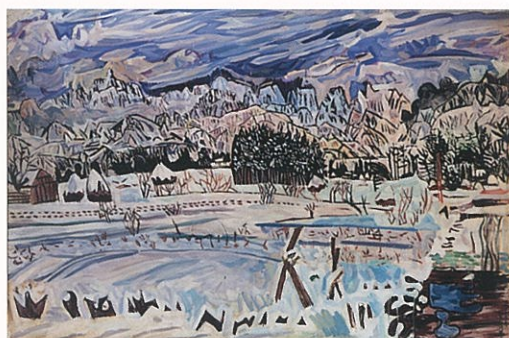
きび美ミュージアム開館記念展Ⅳ 吉備と出会う

—— 寂庵生誕320年企画「寂庵と犬養木堂」——

期 間 2022年1月5日(水)～4月10日(日)

きびのくに
竹林庭園を抱く静かな空間で、郷土「吉備国」ゆかりの幅広い
ジャンルの文化財を通して、先人の優れた技や知恵、また美意
識や世界観と出会ってください。

山堂昨夜起秋風
景物蕭條
便不向堂是
天公如冷
林木清
犬養木堂書



左：犬養木堂《山堂昨夜起秋風》
右 上段：河原修平《立山眺望 (雪景)》
下段：《備前 緋袴鶴首徳利》



表面上から《上古刀》、《備前 肩衝茶入 銘「不動」》、寂庵《南山寿》、寺松国太郎《明治之美妓》

倉敷美観地区へのアクセス
■倉敷ICから車で 約15分
■早島ICから車で 約15分
■JR倉敷駅から徒歩 約15分



1階 とうとう 刀陶の間



「吉備の真髓と出会う」をテーマに、考古遺物、備前焼、刀剣を展示します。考古遺物は倉敷市酒津出土の弥生土器や円筒埴輪、備前焼は須恵器から近代細工物まで、その歴史を厳選された作品でご紹介します。刀剣は希少な上古刀や備中刀《太刀 銘 備中国水田住山城大掾大月又七源国重》をご覧ください。

2階 かんぱく 翰墨の間



「詩思筆才」をテーマに、吉備ゆかりの書画を紹介します。今回は「寂庵と犬養木堂」特別展示を行います。寂庵と犬養木堂(毅)は共に岡山の人。寂庵は江戸時代中期に倉敷連島にある宝島寺の住職をつとめた真言僧で、悉曇学(しつだんがく)に多くの業績を残しました。また書を好み、通念を打破した奔放の世界を切り開いて江戸四大書僧の一人に数えられました。今般は本館所蔵の名品の中から精選し、その書風に出会っていただきます。犬養木堂は第29代内閣総理大臣を務め、五・一五事件で凶弾に倒れた政治家として知られていますが、書に格別の造詣があつて、その筆妙は近代日本書道史上に明確に位置づけられるものでした。本展展示の作品には、それがいかに発揮されています。また、木堂は寂庵の書を高く評価し、世に知らせました。2022年、寂庵は生誕320年を迎えます。秋に開催予定の生誕記念展に先駆けた企画です。

2階 ゆうさい 有彩の間



「百花生ず 吉備彩描」をテーマに、地元作家の油彩画を紹介しています。このたびは戦前戦後を通じて昭和期に異彩を放ち続けた倉敷市本町生まれの画家・河原修平(かわはらしゅうへい)と、倉敷市平田の出身で関西油彩画壇の重鎮として活躍した寺松国太郎(てらまつくにたろう)のコレクションから、魅力的な女性像を展観します。

開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日	月、火曜日(祝日の場合は振替) ※年末年始、展示替などの臨時休館日についてはその都度Webサイトでお知らせします。
入館料	一般 700円 中高生 500円 小学生 300円 ※Eチケットを当館Webサイトで販売しております。 ※10名以上の団体は2割引 ※車椅子の方が入館される際の介助者は無料

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内滞在人数を30名程度に制限させていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

吉備と出会う 吉備に恋する

kibibi museum
きび美ミュージアム

一般財団法人 倉敷山田コレクション きび美ミュージアム
〒710-0046 岡山県倉敷市中央1丁目4-22 「くらしき宵待ちGARDEN」内
TEL: 086-425-8080 FAX: 086-425-8181 E: info@kibibi.or.jp
https://kibibi.or.jp

